

# Yamanashi Medical Univ.

## Dept. of Health Sciences



### 人類遺伝学

#### 教官名

|     |        |
|-----|--------|
| 教授  | 山縣 然太郎 |
| 助教授 | 武田 康久  |
| 助手  | 岡本 まさ子 |
| 助手  | 水谷 隆史  |

#### 開講年次・学期

第1年次 後期1 / 2

#### 教育目標

##### 1) 知識

- 1.人の遺伝学の必要性が記述できる。
- 2.遺伝性疾患の概念を遺伝と遺伝子の違いを踏まえて説明できる。
- 3.メンデル遺伝病、染色体異常、ミトコンドリア遺伝病、体細胞遺伝病について、例を挙げて説明できる。
- 4.多因子遺伝病、生活習慣病の遺伝要因について説明できる。
- 5.遺伝医学の研究法を列挙し、説明できる。
- 6.新しい遺伝学について説明できる。
- 7.ヒトゲノム解析計画と社会との関わり(ELSI)について論議できる。
- 8.遺伝カウンセリング、出生前診断について説明できる。

##### 2) 技能

- 1.家系図が書ける。
- 2.遺伝カウンセリングの際のクライアントに自己紹介と遺伝カウンセリングの手順を説明できる。

### 3) 態度

- 1.あらゆる場面で遺伝的弱者の視点に立った対応ができる。
- 2.遺伝医学に関する最新の知見の収集とその理解の重要性を認識した態度ができる。

### 授業計画

| 学年 | 実施時期           | 講義及び実習内容   | コマ数<br>(1コマ<br>2時間)                           | 担当教官                     |
|----|----------------|--|---|--------------------------|
| 1  | 12月<br>～<br>2月 | 人類遺伝学総論(ヒトゲノム計画と社会との接点、<br>遺伝医学の倫理)<br>メンデル遺伝病、染色体異常<br>ミトコンドリア遺伝病、体細胞遺伝病<br>多因子遺伝病、双生児研究法<br>遺伝医学の診断法と研究法<br>新しい遺伝医学(ゲノム刷り込み、トリプレットリ<br>ピート病、生活習慣病と遺伝子、遺伝子診断、遺伝<br>子治療)<br>遺伝カウンセリング、出生前診断<br>トピックス | 1<br><br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 | 山縣<br><br>武田<br>岡本<br>水谷 |

### 試験・評価方法

一回の総括試験を実施する。試験形式は筆記試験。

### 教科書及び参考書

| 書名  | 編著者名  | 出版社  |
|---|---|--|
| <教科書><br>Principles of Medical Genetics   | Thomas D. Gelehrter<br>Francis S. Collins                       | Williams & Wilkins                                       |
| <参考書><br>(1)「Genetics in Medicine.」4th<br>edition<br>(2) 先天異常の医学<br>(3) 遺伝子で診断する<br>(4) DNA 研究と医学 | J.S.Thompson and<br>M.W. Thompson<br>大田 盈四郎<br>中村 祐輔<br>松原 謙一 編 | Saunders Co 1986<br><br>(中公新書)<br>(PHP 新書)<br>(メジカルビュー社) |

